

仙北市新規採用職員 議会傍聴の感想をいただきました

国保市民課 細川 優香

今回の議会を傍聴し、一つ一つの市での取り組みやその成果などについて質問や答弁を行っている場を見て、仙北市の魅力向上のために様々な議論が行われていることを実感した。

また、それぞれの質問に対し、その内容に対する調査が行われており、割合やお金などの数字の調査だけではなく、市民の声も調査し、答弁の中に入っていたことから市民の声に耳を傾け、仙北市の幸福度をあげるように力を入れていると改めて実感できた。

文化財課 友永 柊

議会では「財政」「予算」というワードが複数回挙がり、新たな施策や事業には財源確保が必要不可欠であると再認識した。しかし、財源確保が終着点ではなく、現状把握と事前調査に基づく計画を策定することで優先順位を付け、継続的な効果を見込む施策が求められていると強く感じた。

また、仙北市は多くの資源を有するからこそ抱える課題も多いという所感を持った。私も市職員として多角的な視点から考察する力を強化したいと思う。

観光課 内藤 稜太

今回の傍聴研修では、質問と答弁の流れや議会中の緊張感を体感でき良い経験になった。

議員の質問からは、市民の生活や悩みを良くするという想いがあること、質問に対する答弁からは市の政策の方針や意図を感じることができた。また、仙北市には多くの課題がある反面、多くの可能性を秘めていることを再認識することができた。

仙北市で働く一人の職員としての自覚と責任を持ち、一つ一つの課題に対して真摯に向き合っていきたい。

総務課 横田 湊太

仙北市議会の傍聴を通して、市民生活を支える多くの取り組みや課題に対し、真剣な議論が交わされていることを実感しました。テレビや資料で見るとは異なり、現場の空気を感じることで、職員としての責任の重大さを感じました。特に子育て世代への支援に関する議論が印象に残り、市職員として住民に寄り添う視点の大切さを学ぶ貴重な機会となりました。議会傍聴は仙北市を深く知ることができる貴重な機会だということもわかり、これからも続けていきたいと思っています。

税務課 伊藤 ハルカ

初めて市議会定例会を傍聴したが、仙北市の現状と課題、具体策を活発に議論していて、とても興味深い議会だった。今回の議会でもさまざまな問題が挙がったが、原因として財政的な問題と人員不足が大きく関係していると感じた。

その中で特に印象に残ったのは、児童クラブでの学力向上についてだ。親として市民としての視点を交えた質問であり、子供たちのためにより良い環境を作りたいという思いが伝わってきた。

身近な問題も多く取り上げられていて、自分が仙北市のために何ができるか考えさせられた。これから仙北市のために自分ができる業務を日々精進していきたい。

包括支援センター 小松田 美咲

今回の議会傍聴研修を通して、仙北市民の安全・安心な暮らしを支えるために市議会議員の方々の意見・要望を真摯に受け止め、より質の高い市政に活かしているのだと感じた。議会において、限られた財源の中でリスクアセスメントや費用対効果等を踏まえて優先的に取り組むことは何かを検討していることを学んだ。今回の研修を受け、福祉に従事する者として市民の声に耳を傾け物事を多角的に捉えられるよう努めていきたいと感じた。

保健課 藤原 好葉

議会傍聴を通して、議員が近隣住民との出来事を交えて発言する場面が印象的であった。議会は市民を代表して住民の声を市政に反映できるため、行政と市民の関係性の重要性を実感した。

時代の流れとともに住民のニーズは変化するが、よりよい仙北市の実現のために大切な役割を果たしていると学んだ。私はこの経験から日頃から市民の声を聞き、市民の目線に立って生活を考え、安心・安全な暮らしを支えるため業務に邁進していきたい。

角館公民館 飛澤 桃子

今回、初めて実際の議会を間近で見ることができ、とても貴重な体験になりました。

特に、子どもの交通事故対策について質問された場面では、市と警察などの関係機関が連携しながら取り組んでいることが印象に残りました。小学校低学年には道路の歩き方などを教える交通安全教室を行い、中学校では自転車点検を実施するなどの交通事故対策を進めていることを知り、こうした取り組みの大切さを改めて実感しました。